

平成 29 年 8 月吉日

平成 29 年度 大田区立熊谷恒子記念館 かなの美展 「散らしの妙」の開催について

■ 展覧会概要

昭和期に書壇の第一線で活躍したかな書家・熊谷恒子が用いた技法“散らし書き”に着目した展示です。同時代の多くの書家達は、壁面に映える大きな書を制作しましたが、恒子は大きさに重きを置くことなく、“かな”を書き続けました。恒子の随筆には、次のような言葉が残されています。「物の大きさは所謂大きなものが必ずしも大きいのではない」。恒子は、“散らし書き”の美しさで知られる古筆の三色紙（継、升、寸松庵）に存在の大きさを見出していました。“散らし書き”は、平安時代より長く引き継がれてきた“かな”独特の視覚性に富んだ表現技法です。その技法は、文字と文字が紡がれた線を文章の書き方に捉われずに紙の上に自由に配置し、書き手の趣味性や感情を伝えるための技法です。加えてその技法は、構図を持たない“漢字”に対して視覚的な優位性を示し、西洋絵画を持たない画面上に美しい余白を生み出すことを可能にするものでした。恒子は“かな”だけが用いてきた構図の技法を巧みに使用して絵画や大きな“書”に負けぬ“かな”を制作しました。

展示する“書”は、《よひあさく（斎藤茂吉）》や《すまには（紫式部『源氏物語』）》等の“散らし書き”を巧みに用いた“書”と《寸松庵色紙》の恒子による臨書（真似て書いたもの）など約 19 点です。

■ 会期

平成 29 年 9 月 2 日（土）から 12 月 10 日（日）まで

開館時間：9：00～16：30（入館は 16：00 まで）

休館：月曜休館（9 月 18 日（月・祝）と 10 月 9 日（月・祝）は開館し、その翌日に休館します）

入館料：大人 100 円、小人 50 円 ※65 歳以上（要証明）と 6 歳未満は無料

■ 会場

大田区立熊谷恒子記念館 大田区南馬込 4-5-15（交通案内は 3 ページをご覧ください。）

■ 関連イベント

○ ギャラリートーク

当館学芸員が本展出品作品を解説します。事前申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

9 月 17 日（日）、10 月 15 日（日）、11 月 19 日（日）ともに 13:00 から（30 分程度）

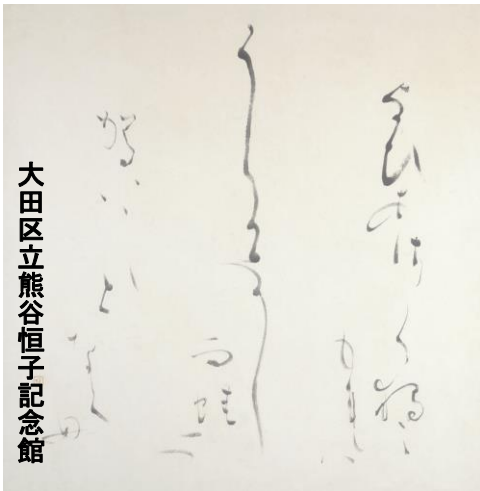
○ 期間限定！秋の庭園公開

通常は展示室の窓からご覧いただいている庭園を、期間限定でご入園いただけます。

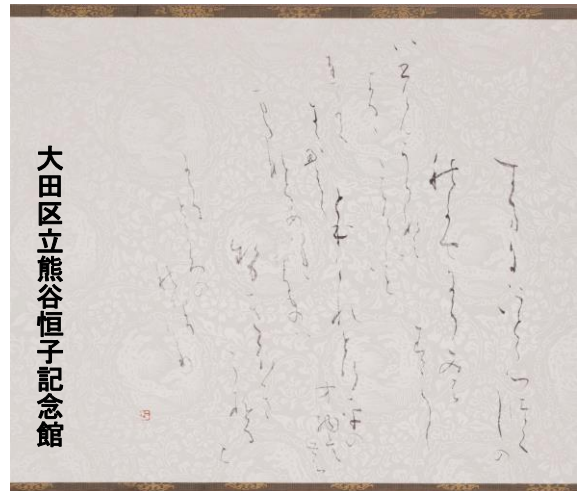
11 月 17 日（金）～19 日（日）料金は記念館入館料に含みます。

9：00～16：30（入園は 16：00 迄）

■主な出品作品



《よひあさく(斉藤茂吉)》 (1961)



《すまには(紫式部『源氏物語』)》(1964)

■広報についてのお問合せ

本展をご紹介いただける場合にかぎり、作品画像をご利用いただけます。作品画像の使用に関しては、下記までお問い合わせください。

※作品画像のほか当館の外観の画像もご用意しております。

※使用に際しては、掲載内容・放映内容を事前に確認させていただきます。

※使用後、掲載誌および放映が記録されたメディアを見本として当館までご送付ください。

<お問合せ先>

大田区立熊谷恒子記念館 担当学芸員 荻野 祐子

〒143-0025 東京都大田区南馬込 4-5-15 TEL&FAX 03-3773-0123

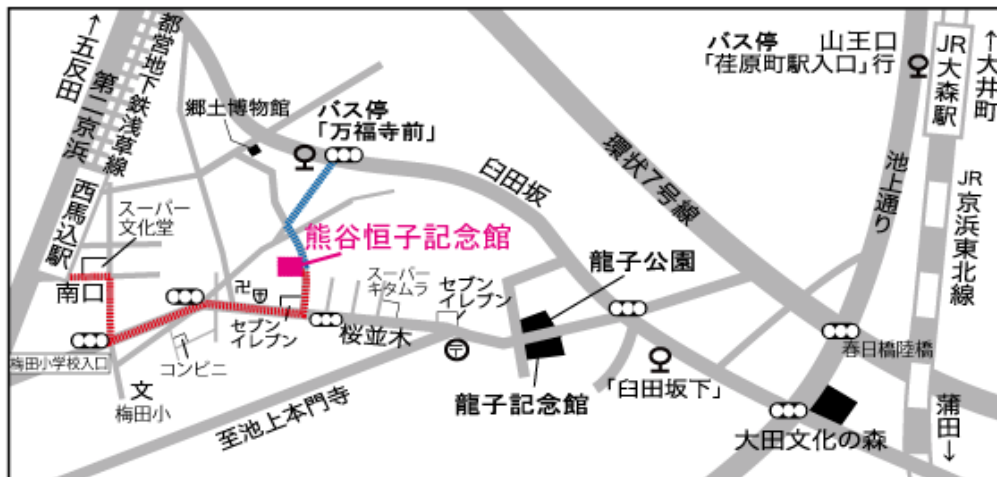
■交通

○JR京浜東北線 大森駅北口(山王方面)から

東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「万福寺前」下車、徒歩5分

○都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

徒歩10分



■次回展予告

タイトル：「恒子かく」（仮）

会期：2017年12月22日（金）～2018年4月15日（日）（予定）

※会期等は都合により変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。